

科目名	小児看護学総論				
担当講師名	野辺地 裕子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1単位 30 時間	開講年次	1学年後期
講義の概要	<p>子どもは、成長・発達の途上にあり、社会環境から受ける影響は大きい。また小児期は、その後に続く各期のはじまりであり、人間の成長・発達に重要な時期である。そのため、子どもを取り巻く社会・家族環境の現状と動向を理解し、子どもの健康増進のために必要な成長・発達の様子を理解する。</p> <p>また、子どもが育つための社会のしくみや制度、支援について学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達の特徴について理解できる。 ・子どもが健康な生活を送るための養育・看護について理解できる。 				
講義回数	講義内容				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	<ol style="list-style-type: none"> 1．小児看護の対象と、小児看護の変遷・課題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 小児看護の対象 2) 小児看護の変遷と小児と家族の諸統計 3) 小児看護の課題 2．子どもの成長・発達 <ol style="list-style-type: none"> 1) 成長・発達の原則と影響因子 2) 成長・発達の特徴 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> ①動く ②食べる・排泄する オムツ交換・哺乳演習 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> ③見る・聞く ・話す ④感じる・考える </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> ⑥人と関わる・学ぶ・遊ぶ ⑦性を生きる </div> 3) 子どもの事故防止 4) 予防接種 5) 学校保健安全法、食育基本法 3．子どもの成長・発達の評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体発育評価 2) 精神運動機能の評価 3) 家庭環境の評価 4．小児看護における理論 <ol style="list-style-type: none"> 1) 成長・発達に関する概念と理論 2) 母子関係に関する概念と理論 5．子育てを支える法律 (児童福祉法、母子保健法、児童虐待の防止に関する法律) 6．子どもにとっての遊び（子どもの世界観を知る） 				
教科書等	「小児概論　小児臨床総論」医学書院　適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題、筆記試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	母性看護学総論で学ぶ、子ども・子育て支援も参考にする。				
特記事項					